

# ほうへいきょう 豊平峡ダムの防災操作と効果 (平成24年10月28日)

とよひら ~豊平川の水位を約0.4m低下

- 平成24年10月28日からの雨により、石狩川水系豊平峡ダム上流域では**総雨量65mm**を観測し、ダムへの最大流入量は約130m<sup>3</sup>/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、ダムでは**約238万m<sup>3</sup>**(札幌ドーム約2個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で**106m<sup>3</sup>/s**(約8割)低減させました。
- この結果、ダム下流の雁来水位観測所地点(札幌市北13条大橋付近)では、**水位を約0.4m低下**させ、水防団待機水位の超過を抑えることが出来たと推定されます。

